

審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	平成 29 年度松阪市学校給食センターベルランチ 運営委員会・連合協議会
2. 開 催 日 時	平成 29 年 6 月 26 日（月） 午後 3 時 00 分～午後 4 時 20 分
3. 開 催 場 所	松阪市学校給食センターベルランチ会議室
4. 出席者氏名	（委 員）◎深見充弘、○山本晋也、高橋秀敏、小倉華奈子、 野呂一彦、村田佳之、小阪正樹、中西裕之、木田麻衣子、 武内英嗣、高瀬聡美、瀬ノ上敏生、南睦実 ※◎会長 ○副会長 （事務局）内山次生、奥田加奈、福嶋早美、水谷優希
5. 公開及び非公開	公 開
6. 傍 聴 者 数	0 人
7. 担 当	松阪市教育委員会給食管理課 TFL 0598-61-1155 FAX 0598-28-7312 e-mail kyusyoku.div@city.matsusaka.mie.jp

協議事項

1. 委員の委嘱について
2. あいさつ
3. 自己紹介
4. 役員選出について
5. 議題（1）学校給食センターベルランチの運営について
（2）平成 28 年度給食会計決算報告及び監査報告について
（3）平成 29 年度学校給食実施計画について
（4）平成 29 年度給食会計予算（案）について
6. その他

議事 別紙

平成29年度松阪市学校給食センターベルランチ運営委員会・連合協議会議事録

日 時 平成29年6月26日(月) 15時00分～16時20分
場 所 松阪市学校給食センターベルランチ会議室
参加者 委員 深見充弘、山本晋也、高橋秀敏、小倉華奈子、野呂一彦、村田佳之、
小阪正樹、中西裕之、木田麻衣子、武内英嗣、高瀬聡美、
瀬ノ上敏生、南睦実
事務局 内山参事・奥田・福嶋・水谷

1. 委員の委嘱について

事務局 机上に委嘱状を置かせていただいています。これをもって委嘱状の交付とさせていただきますことをご了承ください。

2. あいさつ(内山課長)

課 長 平素、学校給食にご理解ご協力いただいていることをお礼申し上げます。
近年、施設の老朽化が進んでおり、今年度もより衛生的な施設とするため整備を進めていく。また、給食費については物資の高騰等により年々品質の維持が難しくなっている。その現状を踏まえ、給食管理課では学校給食推進委員会を開催し、給食施設や給食費について協議したいと考えています。本日は活発な議論をよろしくお願いします。

3. 自己紹介

(省略)

事務局 本日、松阪市学校給食センターベルランチ運営委員会・連合協議会はベルランチ運営委員会規定に基づき過半数以上の出席をいただいていますので、会議が成立していることをご報告します。

4. 役員選出

事務局 運営委員会発足時に、継続していく委員会であるということで、輪番制で役員を決めている。

※委員長(深見委員) 副委員長(山本委員)

事務局 議題以降の進行についてはベルランチ運営委員会規定第7条1項に基づき、委員長より進めていただきます。

5. 議題

委員長 (1) 学校給食センターベルランチの運営についてについて事務局から説明をお願いします。

事務局 学校給食は学校給食法に基づき、学校給食の目標7点を達成するよう実施しています。献立は文部科学省の定める実施基準や学校給食摂取基準に基づき作成しています。また給食管理課では食育の推進に取り組んでおり、地産

地消の推進・食物アレルギー対応、給食だよりや市及び学校のホームページなどを通じた家庭への情報提供等を行っています。

ベルランチの運営ですが、会議は運営委員会連合協議会、担当者会議、献立委員・給食物資選定委員会、会計監査などを行っています。調理配送業務は委託方式で㈱トモにお願いしています。履行期間は平成31年7月31日までです。

給食費については学校給食法に基づき、食材その他の経費を保護者より徴収させていただいています。中学校の給食費は月額4,400円、幼稚園は月額4,000円で、8月を除き年間11回徴収を行い、年間183回の給食を実施しています。中学3年生は年間10回の徴収とし、年間167回の給食を実施しています。給食費は経済的に支払いが困難な家庭のために生活保護費や就学援助費、就学奨励費など補助的な制度もあります。また、長期欠席や転入転出、主食除去者、基準額で徴収するものは、減額等の措置をさせていただいています。また、6,7ページには平成28年度の給食実施の実績を記載しています。ご確認ください。

食材調達に関しては、基本的に入札による調達を行っていますが、地産地消や食育を目的とする食材に関しては、生産者等から直接調達しています。ベルランチでは、米は松阪産こしひかり、牛肉は国産、豚肉鶏肉は県内産を指定しています。

突発的な給食未実施についてですが、台風時の対応については突発的ということから欠食対応は行っていません。天候不良が予測される場合、前日の16時に給食の中止を教育委員会で決定します。前日16時に中止を決定しなかった場合でも午前5時に暴風警報が発令されていた場合、給食を中止します。パンについては処理等の都合により前々日にパンを米飯に変更します。午前5時以降暴風警報が解除され登校する場合も給食は実施しません。学級閉鎖の対応も、報告を受けた日とその翌日における欠食対応は行わないが、それ以降にも欠食がある場合は、デザート等で対応します。

食物アレルギー対応については、三重県作成の『学校におけるアレルギー疾患対応の手引き』というマニュアルに基づき、市としてさらに協議を行い対応しています。学校給食は、学校教育の一環として実施されているため、食物アレルギーを有する児童生徒園児に対しても、学校給食が原因となるアレルギー症状を発生させないことを前提として、アレルギー対応を行なっています。食物アレルギーを持っている児童生徒園児の保護者に対し、最低年1回は医療機関で受診することを勧め、医師の診断、指示に基づいたうえで、可能な範囲で除去食対応または弁当持参対応を行なっています。

ベルランチで提供する献立は、主に栄養バランスのとれた献立、食育の教材となる地場産物や旬の食材を用いた献立、日本型の食事の良さを伝える献立を目的としています。栄養価の基準については学校給食摂取基準量を目標実施しています。

給食費については、保護者負担のほかにも、県や市からも補助費が出ています。ベルランチでは年 5 回献立委員会を開催し、献立原案の承認をもらっています。また、給食目標を月々設定しています。地場産物や旬のもの紹介として掲示資料等も配布しています。提案は以上です。

(質疑応答) なし

委員長 今後もよろしくお願ひしたい。(2)平成28年度給食会計決算報告及び監査報告について事務局より報告お願ひします。

事務局 科目・予算額・決算額・内訳を説明。収入160,169,504円、支出155,655,791円、差し引き4,513,713円を次年度に繰り越します。月ごとの詳しい内訳については9ページに記載のとおりです。

委員長 昨年度監事より報告お願ひします。

昨年度監事 平成29年度監事として平成29年5月25日に監査を行いました。収支とも正確であり、関係書類も整備されていたことを認めます。

(質疑応答) なし

委員長 承認いただけるかたは挙手をお願ひする。全員の挙手がありましたので承認とさせていただきます。では(3)に移ります。(3)平成29年度学校給食実施計画(案)について事務局より説明お願ひします。

事務局 (3)平成29年度実施計画(案)と(4)給食会計予算(案)につきましては、共通する部分が多くあるため合わせて提案させていただきます。昨年度11月頃に調査を依頼した学校別年間実施計画に基づき作成しております。中学校ではパン40回米飯157回の計197回、幼稚園ではパン38回米飯153回の計191回を給食稼働回数とします。

事務局 給食計画予算案についてですが、科目・予算額・決内訳を説明。喫食者数は4月の人数で、給食実施回数は183回で試算しています。副食予備費は繰越金に過年度給食費を加算したものとなっています。収入支出ともに160,075,071円である。

(質疑応答) なし

委員長 承認いただけるかたは挙手をお願ひする。全員の挙手がありましたので承認とさせていただきます。それでは案を消していただきたい。

(6) その他

委員 台風で欠食になった場合、食材はどうなっているのか。また、欠食によりお金が余った場合どうしているのか。

事務局 台風による欠食の場合当日以降の献立を変更したりして、廃棄のないように努めている。これらの対応により支払いが不要となったお金については、他の日の給食のメニューに反映させている。

委員 ごはんの回数が増え和食が増えることになり、野菜が増えてとても健康的になったと感じる。一方、野菜が苦手な児童もいるので、より食べやすくなるよう配慮していただきたい。

- 事務局 1日100g以上の野菜が接種できるように献立をたてている。今後より良い給食になるように努めていきたい。
- 委員 焼き魚のメニューがあるが、蒸したようになっているものが多い、火は通っているとおもうが焼けていないように感じる。
- 事務局 大量調理のため、冷凍の魚を使用しているが、量が多く蒸し焼きのようになってしまう。オーブンの性質上ムラができてしまい、同じ加熱時間でもよく焼き目のついているものとそうでないものができてしまう。衛生上問題のない温度まで加熱はされているが、見た目が悪いとの意見もよく聞いている。焼き方を変えるなど試行錯誤をしているが、現状ではすべての魚に焼き目をつけるのは難しく、今後の課題であると感じている。
- 委員 アレルギー対応により教員の負担が大きい。もっと負担が軽くなるようなシステムにならないか。
- 事務局 アレルギー対応については昨年度より、配食ミスを防ぐことを目的にアレルギー対応食を1種類に変更させていただいた。配食ミスの部分については負担が軽減されたのではないかと考えている。学校における負担は多い現状であるが、今後も協力をお願いしたい。
- 委員 こどもから給食が冷めていることがあるとの意見があるが。
- 事務局 単独調理場方式のように、できてすぐ学校へ届けることは難しいが保温に優れた食缶を採用している。汁物については冬でも暖かいまま運ぶことができていると思う。数物については数えているうちに冷めてしまうこともある。今後の課題であると考えている。
- 委員 時期によって給食のクオリティに差があるように感じる。
- 事務局 昨年度は台風による食材の高騰が著しく、金銭面で大変苦しく、後半に価格を調整した面がある。
- 委員長 今年度についても天候等による価格の高騰も見据え計画的な献立の作成をお願いしたい。子供にとって給食の時間は楽しみな時間のひとつであるので、今後の給食についてもよろしくをお願いしたい。

以上